

## カメラスケッチ



琉大構内にサガリバナ（サワフジ）が咲いた  
 医学部管理課 K.S

琉大構内を花と緑に被われた日本一美しい学園にしようということで琉球大学千樹千緑会という、ボランティアグループが平成6年度に結成されました。千樹千緑会は、琉球大学構内環境整備委員会と協力し、現在まで8000本余の花木の植栽を行ってまいりました。グランド東側



沿いの琉球松と福木の植栽、附属中学校境界沿いの福木の植栽、西原口入口右側のアカバナイペー、キバナイペー、ゴールデンシャワー、ジャカランダ、ハウオウボク等を植栽しております。そして、事務局棟西側のすすき、ギンネム林を伐開し、アカバナイペー、ゴールデンシャワー、キバナイペー、琉球松、サガリバナ、キントラノオ、ハウオウボク等を植栽しております。このたび、平成7年度に植栽したサガリバナ（サワフジ）と平成12年度3月に植栽したサガリバナが開花しました。サガリバナは西原町内間御殿のサガリバナと名護市真喜屋のサガリバナが良く知られており、西原町のサガリバナは、町興しのシンボルともなる著名な名木となっており、開花が始まる6月末から8月までにかけての夜半、サガリバナの可憐な白紅色の花弁とほのかな甘い香りに魅せられた人々が三々五々に訪れては、その美しさに深く魅了され、感嘆の言葉を残して長い影を引きずってゆるゆると去っていく。サガリバナの美しさを奪わぬように控えめな白熱灯の照明の中で人々の影が、適度の柔らかさをもって揺れて、やがて夜陰の中へ消えていく。



琉大構内において、花を愛で、そのような叙情を引きずる場所があつて欲しい、そのような思いを込めて植えた木がやっと咲き出した。そして2~3月にかけてアカバナイペー、キバナイペーが花開き、6月から7月にかけてゴールデンシャワーが咲

き、そして又、サガリバナの開花、8月のハウオウボク、11月のトックリキワタの開花へと繋がっていく。琉大構内にそのような花の連環の兆しが見え始めたことが本当に嬉しい。